

昭和十二年七月七日、日中戦争が開戦、工場地帯は軍需品の生産が活況を呈し、日常生活も戦時色が強まりました。

時局生活の日、銃後の守りの日、勤労報国の日など次々に実施され、昭和十六年四月一日、小学校は国民学校に改称され

先の戦争で多くの方々犠牲になった被害の記憶や遺品の継承が、語り部の高齢化と減少から失われようとしています。

広報「なかよし」では昭和十二年、終戦の間を八月号まで、記事として掲載させて頂きたいと存じます。

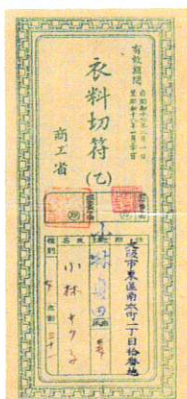
今年は終戦から80年



十二月八日には太平洋戦争開戦が放送されました。

防空、供出、勤労奉仕、貯蓄増強、納税、配給と町は戦時一色となり、物資不足は次第に深刻となり米の通帳に深刻となり、衣類の切符制、マツチ、衣類の切符制、木炭、練炭の配給も始まり、配給を

大阪市から配布
「防毒救護の指針」
隣組防空指導叢書



つるかめクラブ
浦尾様ご提供

受けるため区民の長い行列が続きました。

一般に男子は国民服、マキゲートルに戦闘帽、女子はエプロンにモンペ姿で着物のたもととは短く切り、婦人服も男子と同様左前とされ、女子のパーマは軽薄とされ禁じられました。



各家庭には防火用水を置き、訓練警戒警報が発令されると、これに満水し女性モンペ姿でバケツリレー演習を実施しました。

昭和十六年十一月には防空法が改定され空襲の目標となる重要施設や工場、学校の壁、煙突には迷彩色が施され日本全土が本格的な防衛体制に入りました。

NHK朝ドラ「あんぱん」と同じ頃のお話です。続きは次回で

つばやき人

川柳コーナー



夫婦旅

写真の横に

一句添え

お墓今

仏も楽し

デザイン化

趣味多忙

お迎えなど

寄せつけず

老け込んだ

脳を川柳

ノックする

欲しかった

自由と時間

持て余す

北寿会

Y・S

伊根湾遊覧



ワイナリー見学



日時

令和七年六月三日(火)
伊根の舟屋めぐりと
天橋立、ワイナリー見学

6月のバス研修旅行

日時

六月十三日(金)
午後五時より

場所

東都島福祉会館
各クラブ会長・女性部長
部会長の二十七名で
実施いたします。

・都島区役所防災担当
中川氏の防災講座を予定